

40103航空業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	11 ～ 12	空港内駐機場に駐機している航空機の左側後方に、防除雪氷作業車を停車させスタンバイしていたところ、車両の窓に防除雪氷液が付着して視界が悪かった。そのため、降車して窓を拭こうと運転席のドアを開けたところ、強風に煽られ、勢いよく開いたドアを押さえようとして右手首をひねり、右手関節炎、右短拇指伸筋腱炎になった。	32	19	719	1000 ～ 9999
2	2020	3	10 ～ 11	客室後方右側乗務員座席で、空港到着に備えて、シートベルトを締めて着陸姿勢を取っているとき、接地の瞬間に垂直に叩きつけられるような衝撃があり、左の尾?骨辺りに違和感があり、腰椎椎間板ヘルニアを発症した。	47	19	239	1000 ～ 9999
3	2020	6	17 ～ 18	空港の搭乗口で、不織布・イヤホンボックス設置台を搭乗口に設置するため、設置台を壁側に寄せようと動かしたところ、設置台が傾いて不安定だったので、支えようとしたところ左足を挟んで挫傷を負った。	25	7	612	1000 ～ 9999
4	2020	6	18 ～ 19	客室最後部左側乗務員座席で、空港への着陸に備えて、シートベルトを締め着席しているとき、着陸姿勢を取り、接地のタイミングを掴んでいたが、接地時に上から叩きつけられるような強い衝撃があり、腰痛を発症した。	47	90	239	1000 ～ 9999
5	2020	7	17 ～ 18	空港ターミナルビルエプロンで乗務前クルーバンから降りる際、足下を踏み外して転倒し、左足首を捻挫した。	23	1	231	1000 ～ 9999

6	2020	7	11 ～ 12	着陸時、客室乗務員席で着陸姿勢を取っていたが、通常より強い衝撃を受け、外傷性頸部腰部症候群を負った。	56	19	921	500～ 999
7	2020	7	11 ～ 12	着陸時、客室乗務員席で着陸姿勢を取っていたが、通常より強い衝撃を受け、背部と腰部に打撲傷を負った。	28	19	921	500～ 999
8	2020	8	9 ～ 10	診療所で航空身体検査の採血中、左腕に穿刺したところ血管に当たらなかった。そのとき、別のところを刺すように促したが、看護師がもう少し針を動かした際、痛みが走り、左尺骨神経障害の疑いと診断された。	57	8	364	1000 ～ 9999
9	2020	10	16 ～ 17	訓練センターでインストラクターとして定期訓練実施中、準備運動で緊急脱出スライドのデモンストレーションを行った。そのとき、片足を一步前に踏み出しながら軽くジャンプした後、お尻からスライドに着地し、両足を伸ばして滑り下りるところ、お尻より先に踏み出した右足首が内側に向いた状態でスライドに接地した。その瞬間、右踵付近をスライドにぶつけてひねり、右足靭帯損傷および右足関節捻挫を負った。	34	19	419	300～ 499
10	2020	10	20 ～ 21	飛行機の着陸時、進行方向と反対を向いて乗務員席に着席していた。事前に揺れなどの情報はなく、通常より強めに着陸したため、右仙腸関節捻挫挫傷および腰部筋に挫傷を負った。	47	19	239	10000 ～
11	2020	10	6 ～ 7	航空機内通路で、紐で結ばれた2つの手荷物を座席上方の物入れに入れようとした。その際、旅客が目の前を通り、ぶつからないよう落下しかけた荷物を持ち上げようとして腰に負担が掛かり、急性腰痛症、腰椎椎間板ヘルニアの疑いとなった。	32	19	611	1000 ～ 9999
12	2020	11	21 ～ 22	機体ドアの模擬訓練施設内で、航空機内ドア操作の開閉を行う訓練実施中、被災者が非常口ハッチの外側で、手動でドアを閉める作業を行っていた。そのとき、ドアが浮き上がり、非常口パネル下部が顎に当たって、下顎部に裂傷を負った。	32	6	419	500～ 999

13	2020	11	18 ～ 19	旅客搭乗中、女性旅客の手荷物（キャリーバッグ・重量物）の収納を補助したとき、頭上まで上げたところで旅客が手を離した。そのとき、重さと反動で手荷物を抱えたまま体が後ろ側に反り返って踏ん張った際、左肋軟骨に損傷を負った。	27	19	611	10000 ～
14	2020	11	9 ～ 10	航空機内で着陸に備えて着陸姿勢を取っていたが、着陸時に普段より強い衝撃を受け、外傷性頸部症候群を負った。	42	19	921	300～ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。